

河南中「学校だより」

ハピネス河南

校訓 自立 協力 向上

盛岡市立河南中学校 校 報

令和 8 年 6 月 5 日発行 第 2 号

文責 校 長 米 慎 司

体育祭盛り上がりました！

5 月 28 日（木）に第 2 回体育祭が開催されました。天候にも恵まれ、笑顔あふれる、感動の体育祭になりました。生徒会執行部において、生徒アンケートを実施した結果を見ると、体育祭を楽しむことができましたか？の質問については 98%、組団で団結できましたか？も 98%、5 月の月スローガン「競創～一人一人の努力がチームの力へ～」を達成することができたか？は 96%でした。アンケートから見れば、ほぼ全校生徒が達成感のある、満足した体育祭だったと捉えることができます。私からみても、素晴らしい体育祭だったと思います。6 月 2 日の全校朝会で、私から体育祭の感想と、これからの生活についてお話ししました。その概要を紹介させていただきます。

先週の体育祭は大変感動しました。君たちのあふれる笑顔、ひたむきに競技に取り組んでいる姿、心を一つに取り組んだ組団応援、全校応援。私は「ハピネス」の話をみなさんにしていますが、いたるところで、ハピネスが生まれていることを感じました。怒の心をもって、行動している姿。具体的には、相手を思い応援したり、思うようにできなかった競技の後に「ドンマイ」と声掛けしたりしている姿。それから、やったー！と喜びを共にしている姿。組団のために互いに応援し合ったり、一緒に応援しようとしていたりしている姿など、これらはすべてハピネスだと思います。それが組団の中で広がり、最後には、全校生徒が一丸となり、とてもとても大きなハピネスができあがりました。閉会式の最後の「万歳」は本当に最高でした。

私にとって一生忘れられない体育祭となりました。みなさんに感謝したいと思います。ありがとう。

さて、これからの生活について触れたいと思います。昇降口に「怒」という文字が貼られているのはみんな知っていますね。その左隣にもう一枚貼られているのですが、知っていますか。1 年生は気づいていたでしょうか。

東日本大震災から 15 年が経ちましたけれども、当時、震災で大変だったときにテレビの CM で繰り返し繰り返し流れていたフレーズがあります。それは、『『ころ』はだれにも見えないけれど『ころづかい』は見える…』というフレーズです。詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩の中に出てくるフレーズです。今から全文を紹介しますが、よく聞いて、理解しようと努力してみてください。

あなたの「ころ」はどんな形ですか、と、人に聞かれても答えようがない。
自分にも他人にも「ころ」は見えないけれど、本当は見えないのであろうか。

確かに「こころ」はだれにも見えない。けれど「こころづかい」は見えるのだ。

それは人に対する積極的な行為だから。

同じように、胸の中の「思い」は見えない。けれど「思いやり」はだれにでも見える。

それも人に対する積極的な行為だから、あたたかい心があたたかい行為になり、

やさしい思いがやさしい行為になるとき、「心」も「思い」も初めて美しく生きる。

それは人が人として生きることだ。

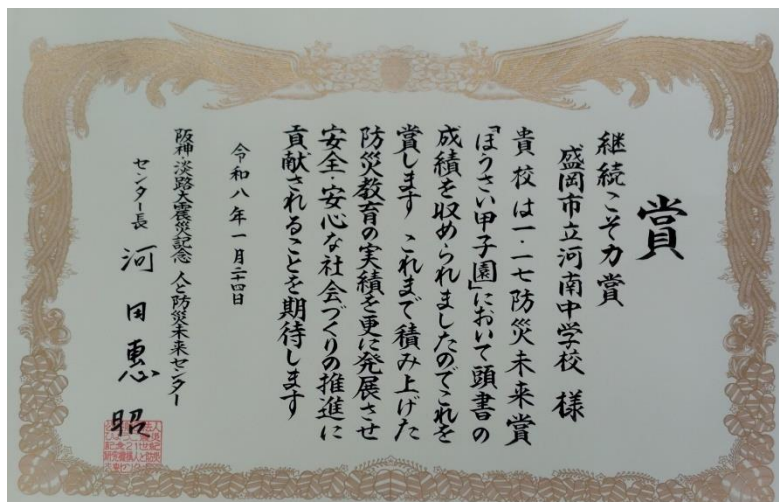
という詩です。

『心』は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は行為という形で見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は行為として誰にでも見えるから、見えるようにしていこうという願いが込められていると思います。

1 学期も 2 か月が終了しましたが、その間、様々なことがあったと思います。良いことばかりではなく、いやなこと、つらいこともあったかと思っています。お互いに思いやりを行動に移し合えば、嫌なこととも少なくなっていくと信じています。いじめなんて河南中では起きないと信じています。一人ひとり「恕の心」を行動に移してほしいです。ハピネスをどんどん生み出してほしいです。そして広げてほしいです。誰もが安心して明るく楽しい過ごせる学校を創っていきましょう。それが「ハピネス河南の創造」です。

「ぼうさい甲子園」で継続こそ力賞を受賞

本校は令和 8 年 1 月 24 日に 1. 1 7 防災未来賞「ぼうさい甲子園」において、「継続こそ力賞」をいただきました。この賞は 1995 年 1 月 17 日に阪神淡路大震災が発生したことを受けて、大震災の経験と教訓を次世代に伝え、子どもたちが自ら考え行動する防災教育を推進することを目的とした取組です。近年、地震や豪雨などの自然災害が全国各地で発生しており、災害から身を守る力を身に付けることは、大変重要な課題となっています。本校では令和 5 年から 7 年まで、県の指定を受け、本格的に防災教育に取り組みました。



- 1 年生 被災地訪問、防災に関する講義、まちあるき（地域のハザードマップの確認や防災の歴史を学ぶ）、防災に関する学習発表会の実施
 - 2 年生 豪雨災害のメカニズムや河川氾濫に対する備えに関する講義、さいがいMAPを用いたシミュレーション（講義・演習）
 - 3 年生 避難所設営体験（HUG）、段ボールベッド組み立て訓練、大慈寺小学校との合同避難訓練（本校生徒が小学校児童へ段ボールベッド作り方を教える）
- 3 年間のまとめ

今年度も、復興教育における防災学習を精査しつつ、生徒が「支えられる人から支える人へ」成長できるように取り組んでまいります